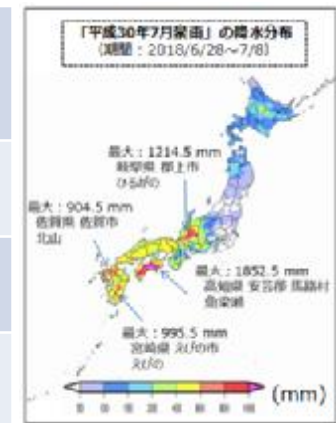


# 堺市の取組み -関係機関との連携強化とタイムラインの作成-

平成29年の台風21号では河川氾濫、土砂災害に係る避難情報を発令した。また、家屋損壊など、多数の被害が生じたことから、平成30年度にワーキンググループを立ち上げ、対応の検討を行った。

ワーキンググループには、市の関係部局のほか大阪府警察の警察署にも参画いただき、各区域毎に危険箇所、避難誘導のあり方の情報共有など関係機関と連携するとともにタイムラインの作成に取り組んだ。

第1回 平成30年5月17日	<ul style="list-style-type: none"> <li>土砂災害に対する住民啓発の実施</li> <li>気象注警報発表時から避難情報の発令、災害発生状況を時系列で整理</li> <li>時系列（タイムライン）で各局区の災害対応体制や発生した課題等を情報共有</li> </ul>
第2回 平成30年5月30日	<ul style="list-style-type: none"> <li>出水期に向けた各区のリスク分析</li> <li>「住民避難」を切り口とした関係機関（部局）連携</li> </ul>
第3回 平成30年11月21日	<ul style="list-style-type: none"> <li>今年度の災害の振り返り</li> <li>課題や問題点に対する対処や改善方法の検討</li> </ul>
第4回 平成31年2月8日	<ul style="list-style-type: none"> <li>簡易なタイムラインの作成・共有</li> <li>課題のトリアージと対処方法の明確化</li> </ul>



ワーキンググループでの検討

## 【タイムラインのステージの目安】

ステージ毎の行動目標	ステージ1 準備 災害発生までの対応方針を決めて庁内に伝達	ステージ2 警戒 現場活動・避難支援活動の開始可能状態	ステージ3 早期避難 避難に時間のかかる人の避難	ステージ4 避難 全員が安全な場所に避難	ステージ5 避難完了/災害発生 避難者受入・発災後の応急対応など
時間目安	概ね2日前～	概ね1日前～	概ね12時間前～	暴風警報発表～	台風最接近～災害発生
気象情報	台風説明会の開催	強風波浪注意報	大雨注意報	大雨警報 暴風警報	土砂災害警戒情報 記録的短時間降雨 氾濫危険情報 氾濫発生情報
その他 具体的 状況	2日前に関しては、6時間間隔での気象（注意報・警報級）が提示されている。	台風影響が確実視される。 公共交通機関の計画運休判断	(注意報)雨が降り始める。 公共交通機関の計画運休開始	(警報)雨と風が強まる。 3時間間隔で気象（警報級）が提示されている中での最初のターム	避難情報の発令 山間部で土砂災害 河川氾濫のおそれ